

令和7年 **7**月の大阪**森林**便り



7月の木の話 **木材から悪い化学物質が放散される？**

*木材由来の天然有機化合物は、木材から揮発して鼻の粘膜に捕らえられ、嗅覚を刺激して「木の香り」を醸します。

*木の香りの強い部屋には、総揮発性有機化合物（TVOC）が多数舞っていることになり、TVOCの濃度が高くなります。

*多くは「良い匂い」の源ですが、化学物質過敏症などの人にはきつ過ぎる場合もあります。

*クスノキから取れる精油（樟脳）が衣服の防虫剤として使われてきたことから、木の香りは「毒」にもなり得ます。

*木材自身もわずかですがホルムアルデヒドやアルデヒドを放散します。

*ホルムアルデヒド放散基準のF☆☆☆☆はホルムアルデヒド放散レベルが最も低いことを表していて、放散量ゼロを意味するものではありません。

（木材利用システム研究会 木力検定委員会 木力検定 木を学ぶ 100 問より抜粋引用）

